

水戸谷ツヤさん 99歳(白寿)おめでとうございます

2月14日、西木町西荒井の水戸谷ツヤさんが満99歳の白寿を迎えられ、石黒市長と市関係者が長寿のお祝いに駆けつけました。

石黒市長がお祝い金と花束を手渡すと、ツヤさんは若い頃の思い出話などをしっかりと口調で話しとても元気でした。

健康の秘訣は「三度の食事は家族と一緒に同じものを食べ、好き嫌いはしない。毎日朝日が昇ると拝み、規則正しい生活を送ること」だそうです。また、家族みんなが協力し、ツヤさんを一人きりにしないように気をつけているということでした。いつまでも元気で、長生きしてください。



とても元気なツヤさん、石黒市長と一緒に記念写真

だしのこ園の園児たち うさぎの赤ちゃんにふれあう

自宅で飼育しているうさぎの赤ちゃんを、だしのこ園の園児たちにふれあわせようと、田沢湖生保内に住む田口了二さんが企画し、1月20日、園児たちがうさぎの赤ちゃんにふれあいました。



子どもたちはうさぎの赤ちゃんを見ると「かわいい」などと言いながら、抱きかかえたりなでたりしていました。うさぎにえさをあげたり、みんな楽しそうにふれあっていました。



うさぎの赤ちゃんを抱きかかえて喜ぶ園児たち

一人暮らし、高齢者世帯に強い味方 除雪お助けマン

仙北市社会福祉協議会角館支所では、今シーズンの例年になく大雪のために困っている一人暮らしの高齢者や障害者、病氣療養者などがおられる世帯を対象とした「除雪お助けマン事業」を実施しました。

この事業は、その世帯に応じて15分から40分程度の除雪をするもので、角館町建設業協会の協力により低料金で利用者の負担が少なくなっています。

申し込んだ世帯の皆さんは、手頃な金額でかゆいところに手が届くようで、とても助かったと喜んでいました。



屋根から落ちた雪もきれいに除雪する
角館町建設業協会のみなさん

高橋喜志治さんが無落雪屋根の 排水構造で実用新案に登録

豪雪地帯では、屋根の雪下ろしをしなければ、倒壊する恐れがあります。しかし、雪下ろしは危険が伴います。これらを解消する無落雪屋根の排水構造を高橋喜志治さん（生保内字宮ノ前）が考案し、特許庁の実用新案に登録されました。

この構造は、屋根がV字形になっており、地下や太陽の熱を利用、少しずつ雪を解かし、建物の中にある排水パイプを伝って排水されるようになっています。電気や温水などの熱源は一切使用せず、雪解け水を再利用できるなど、環境に配慮した構造になっています。

高橋さんは「雪が原因で隣の家と争いになることもあるし、高齢者が雪下ろしをすると大変。また、日本人は水を使い捨てのように利用している。これらを考えて、この豪雪地帯で雪による事故が減ることを願って考案した」と語ってくれました。



実用新案登録証を手にする高橋さん